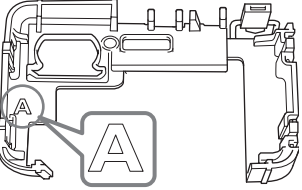


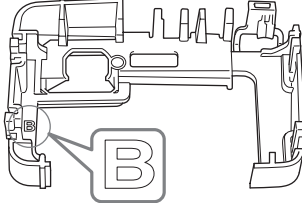
準備

アタッチメント形状

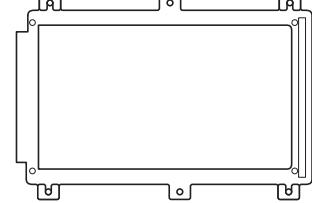
アタッチメントA 1個 (DSC-T200用)



アタッチメントB 1個 (DSC-T75/T70用)



アタッチメントリア 1個 (DSC-T75/T70用)

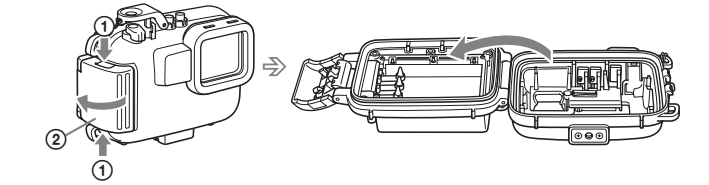


マリンバックの準備

アタッチメントを取り換える (DSC-T75/T70をお使いのかたのみ)

* お買い上げ時は、DSC-T200用にアタッチメントAを取り付けてありますので、DSC-T200をお使いのかたは以下の手順は不要です。

1 マリンバックを開ける。



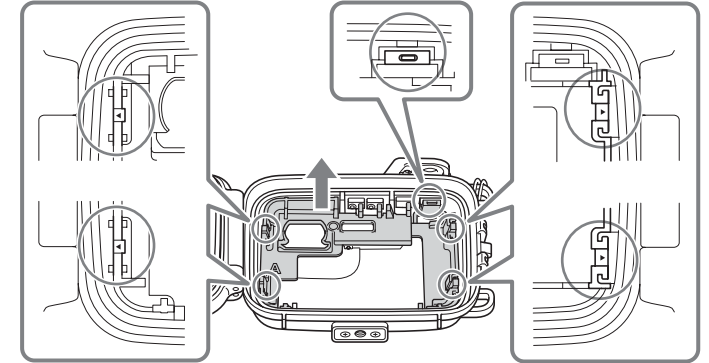
上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、マリンバックのボディを開く。

ご注意

スパーサーは、マリンバックを保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

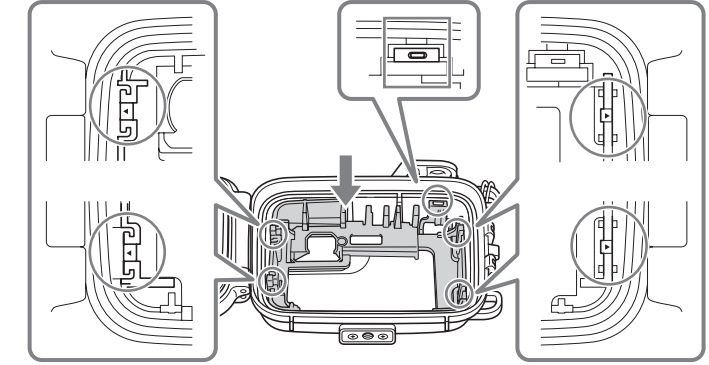
2 アタッチメントを取り換える

●DSC-T200用のアタッチメントAを取りはずす



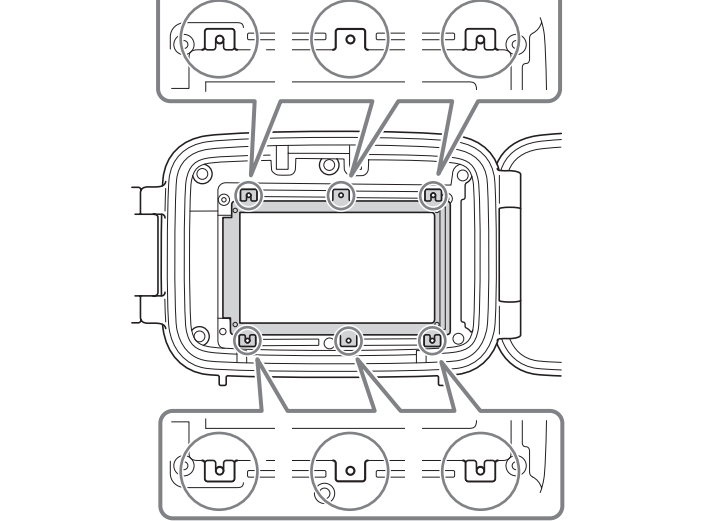
図の○印部分を持って、垂直に引き上げる

●DSC-T75/T70用のアタッチメントB、アタッチメントリアを取り付ける
フロント部



図の○印位置をしっかりと押し込んでください
ズーム部分 (□部) の凸部にしっかりとはめ込んでください。アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。

リア部



図の○印位置をしっかりと押し込んでください
アタッチメント交換後、ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

Oリングと防滴パッキンの準備

1 Oリングを取りはずす。

2 Oリングにグリスを塗る。

Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。

3 Oリングを取り付ける。

4 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意

- 防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗ったりしないでください。
- 砂やゴミが付着したままふたを閉めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。
Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

デジタルスチルカメラの準備

デジタルスチルカメラの取り付けは、湿気の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所でのマリンバックの開閉は、マリンバック前部のくもりの原因となります。

1 デジタルスチルカメラのストラップをはずす。

2 バッテリー、“メモリースティック デュオ”を入れる。

充分に充電してあるバッテリーを入れてください。
充分に容量のある“メモリースティック デュオ”を入れてください。

3 レンズカバーを下げ、電源を入れる。

レンズカバーを下げるときは、レンズに触れないように注意してください。

4 画面上のHOMEをタッチし、 (撮影) からオートにする。


シーンセレクションの各シーンや、プログラムオートも設定することができます。

5 ホームのカテゴリー内 (設定) をタッチし、ハウジングを「入」にする。

- ハウジングが「入」になっていることを確認する。
- ハウジング「入」後は、静止画の設定変更をすることができません。
- 設定後、デジタルスチルカメラの使える機能が制限されます。外部ボタンと、液晶面の5つのボタンのみです。
- 「HOME」、「MENU」、「カメラモード」、「フラッシュ」、「マクロ」
- マリンバック取り付け後は、「HOME」、「MENU」ボタンは使用できません。


ハウジングの設定方法

① HOMEをタッチする

② カテゴリー内のをタッチし、本体設定を選び「OK」をタッチする

③ ハウジングをタッチし「OK」、「入」を選び「BACK」をタッチする

④ ハウジングが「入」になっていることを確認し、「BACK」、×をタッチする

⑤ 画面上にハウジングが出ていることを確認する

6 レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

注意

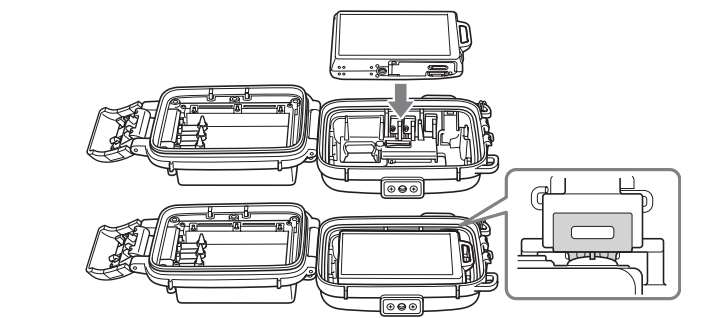
AFイルミネーターは使用できません。

デジタルスチルカメラをマリンバックに取り付ける

1 デジタルスチルカメラのPOWERボタンで電源「OFF」にする。

2 マリンバックにデジタルスチルカメラを取り付ける。

デジタルスチルカメラのレンズカバーは下げた状態にしてください。レンズカバーが上がった状態で無理にマリンバックを閉じようとすると故障の原因になります。
デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。

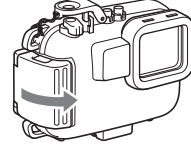


デジタルスチルカメラが正しく入っているか確認してください。

- デジタルスチルカメラの溝とアタッチメントの突起を合わせて入れてください。
- ズームレバーを左右に動かし、ズームボタンが正しく動くことを確認してください。

3 ボディーを閉じて、バックルを締める。

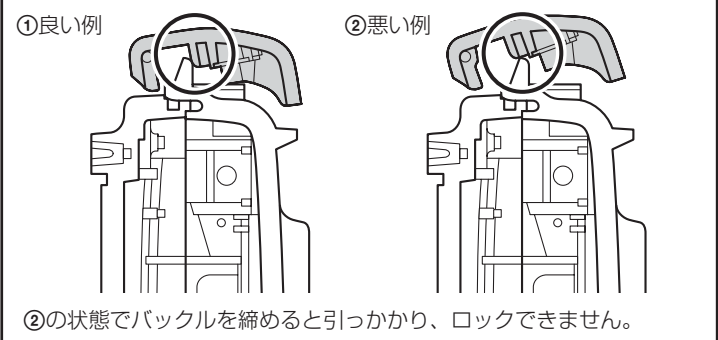
ボディをしっかり押さえ、バックルがカチッと上下2箇所がロックされるまで押してください。



ご注意

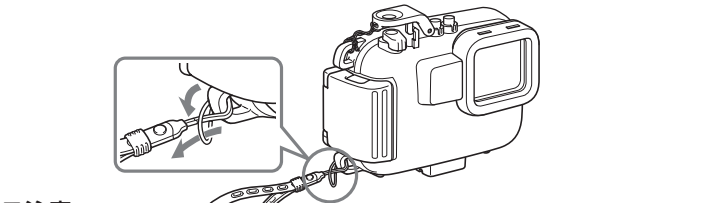
マリンバックのボディを閉じるとき、Oリングの表面とマリンバックの溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。上記のような異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

ボディを閉じるときのバックルの位置



ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



ご注意

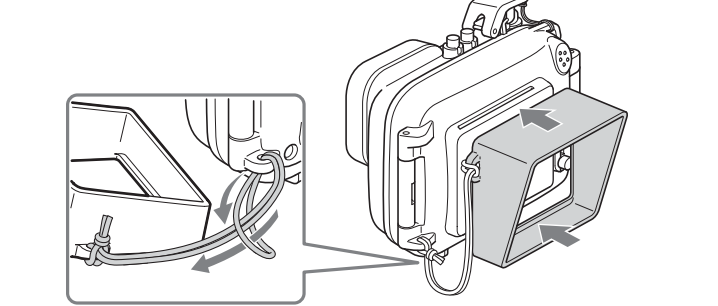
マリンバックのボディを閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

液晶フードの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

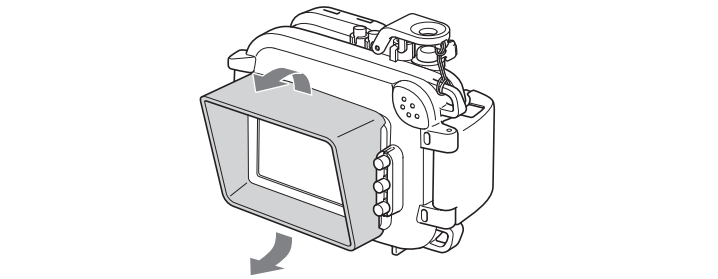
1 付属の脱落防止ひもを取り付けてください。

2 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込みます。



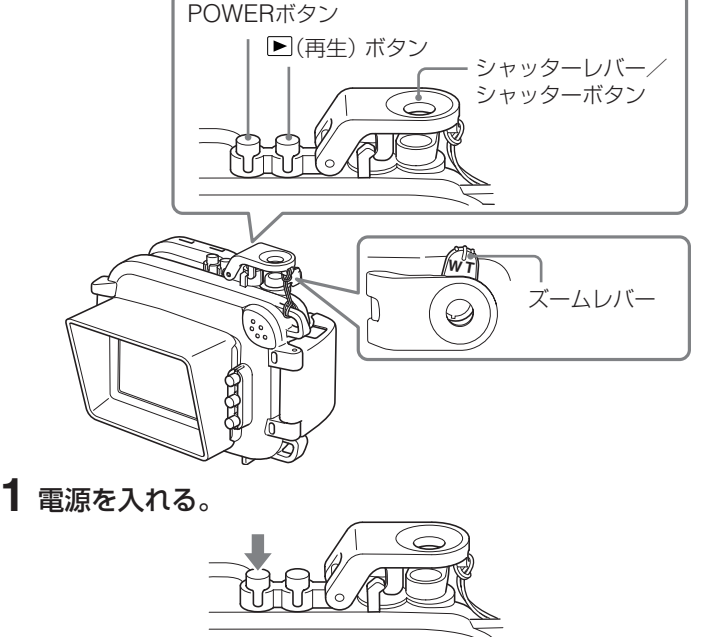
取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。

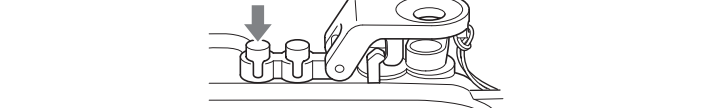


マリンバックを使う

撮影する

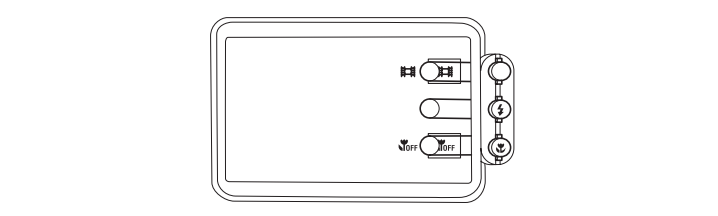


1 電源を入れる。



2 設定状態を表示する。


画面上のボタン (カメラモード、フラッシュ、マクロ) のいずれかを押すとタッチ 1 回目では現状の設定状態がボタンの左側に表示されます。このとき、表示が出るだけで設定内容は変更されません。
* アイコン表示とタッチ位置がずれていますが、操作上問題ありません。



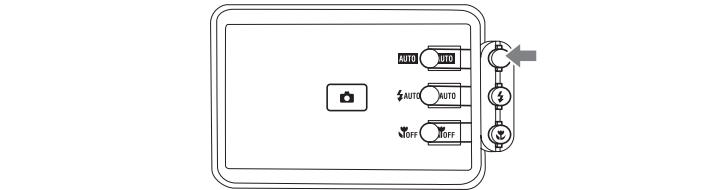
設定変更はこの表示が出ている間に、本機のボタンを押すことによって設定されます。

- 表示はしばらくすると消えます。再度いずれかのボタンを押してください。

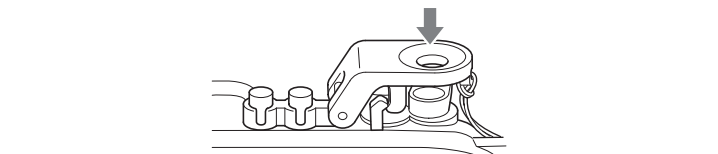
3 カメラモードで静止画／動画を選択する。

- 静止画を撮影するとき・・・カメラモードボタンを押して静止画にする。設定したモードが表示されます。
- 動画を撮影するとき・・・カメラモードボタンを押して「動画」にする。

動画撮影時に音声を記録することはできません。



4 シャッターレバー／シャッターボタンを押す。



ご注意

- 水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに見えます。したがって水中撮影でフォーカスプリセットを使用する場合、設定した距離と被写体までの実際の距離は異なります。
- マリンバックでフラッシュ撮影を行なう場合、状況によっては撮影距離が短くなることがあります。その際は、水中ビデオライト HVL-ML20M (別売) の使用をおすすめします。
- デジタルスチルカメラの拡大鏡モードでは、マリンバック内のガラス面のほこりやゴミにピントが合うことがあります。その際、ガラス面のほこりやゴミを取り除いてください。

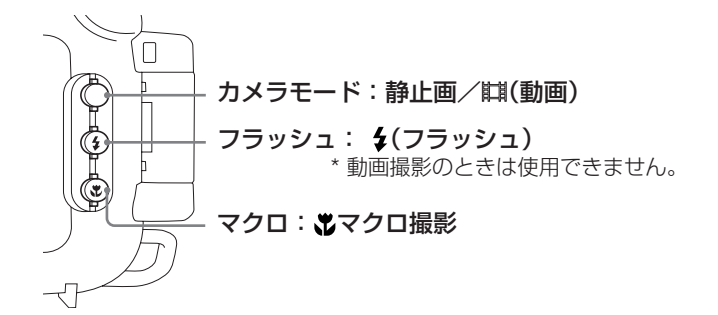
ズーム機能を使う

W側へ押し続けると、徐々に広角 (Wide) になります。

T側へ押し続けると、徐々に望遠 (Telephoto) になります。

さまざまな機能を使う／設定をする

マリンバックに収納したデジタルスチルカメラのさまざまな機能を使うことができます。




カメラモード	静止画撮影 ↔ 動画撮影
フラッシュ	AUTO → 強制発光 → スローシンクロ → 発光禁止
マクロ	マクロ切 → マクロ入 → 拡大鏡入

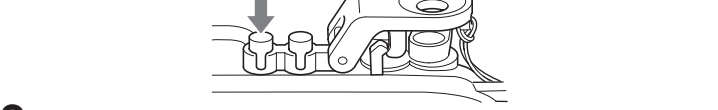
ご注意

撮影一時停止状態が一定時間続くと自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。詳しくは、お使いのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

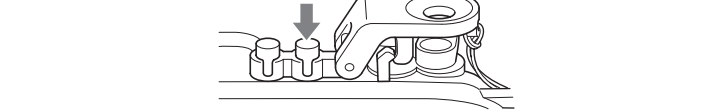
再生する

デジタルスチルカメラの (再生) ボタンで撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

1 電源を入れる。



2 (再生) ボタンを押す。



3 ズームレバーを操作して、再生したい画像を選ぶ。

- ▶側に押すと次の画面へ
- ◀側に押すと前の画面へ

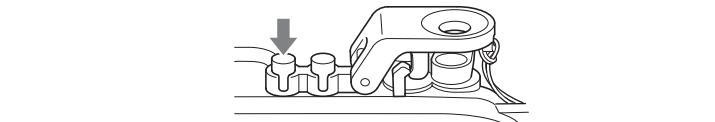
画面上のボタンはモードによって、次の機能に変わります。

	静止画	動画 (停止)	動画 (再生中)	削除中
カメラモード	削除	削除	削除	—
フラッシュ	—	再生	停止	実行
マクロ	—	—	—	キャンセル

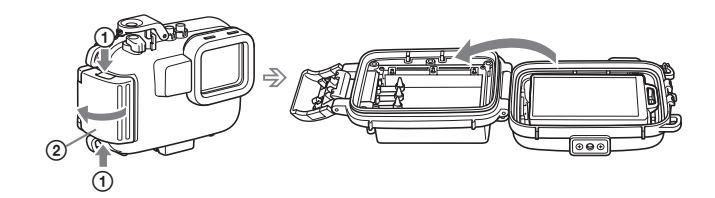
デジタルスチルカメラを取りはずす

1 電源を切る。

デジタルスチルカメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



2 上下のOPENボタンを同時に押しながら①、バックルを矢印②の方向にはずし、マリンバックのボディを開く。



3 デジタルスチルカメラを取り出す。

長時間ご使用になったときは、デジタルスチルカメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、デジタルスチルカメラを取り出してください。

デジタルスチルカメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

4 デジタルスチルカメラのハウジング設定を「切」にする。

ご注意

マリンバックを開ける前に、マリンバックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってください。マリンバックを開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がデジタルスチルカメラにかからないようにご注意ください。

ダイビングの前に

- 水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に作動するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。
- デジタルスチルカメラは、ダイビングの前にあらかじめマリンバックに取り付け、船上や海岸などでのマリンバックの開閉は、できるだけ避けてください。デジタルスチルカメラを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。
- ご使用前に、マリンバックの前後のボディの間に異物のほさみ、ゴミがないかを確認してください。
- ご使用前に、必ず撮影可能枚数、バッテリーの残量をご確認ください。
- 水中で撮影すると、被写体の色が青みがかって見えることがあります。このような場合は、色の補正にカラーフィルターVF-MPTA (別売) をお使いになることをおすすめします。

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。
太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、水中ビデオライト HVL-ML20M (別売) をお使いください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

- マリンバック内部に水滴がつく
 - Oリングに傷やヒビが入っている場合には、新しいものと交換する。
 - Oリングを正しく装着する。
 - バックルをカチッとロックされるまで締める。
- 撮影ができない
 - バッテリーを充分に充電する。
 - “メモリースティック デュオ” の残量がない場合、別の“メモリースティック デュオ”を入れる。または不要なデータを消す。
 - “メモリースティック デュオ” の誤消去防止スイッチを戻す。または別の“メモリースティック デュオ”を入れる。
- カメラモード、フラッシュ、マクロボタンを押しても、モードが切り替わらない
 - タッチ1回目では現状設定が表示されるのみのため、設定が表示されている間に、もう1度ボタンを押す。
- シーンセレクション、画像サイズ等の変更ができない
 - ハウジングを「入」に設定する前に変更する。